

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌誌上大会 選

入選 冬ざれに飢えたる小鳥の餌となるや金柑
どれも小さき穴持つ 倉橋壽満子

入選 家中をあちこち捜しようやっと見つけた
二枚の貴重なマスク 山本 賀代

入選 春風のアーティストらが水張田に描いた
光のささ波きさら 村上 富子

入選 「おばあちゃん合格したよ」と大阪の孫
はコロナの春に巣立ちぬ 小田 和子

入選 蠟梅の一枝に和む床の間に孫の雛壇姿な
きあと 堀崎千万子

入選 手折らんとすれば大きく揺れゆれて羽ば
たき初めぬ白蓮の花 佐坂 恵子

入選 何時までか新型コロナの恐れあり筍の芽
に一時ほっこり 近藤 久子

入選 淋しさを抱くも老いはデイケアー今日一
日は饒舌となる 長尾 久子

俳句

阿南市俳句連合会 選

白玉をすくうも嬉し銀の匙 神原 鹿山
小枝蹴り小枝を抜ける翡翠鳥 鳥海 勇二

コロナ禍の今年は一人盆迎え 瀬藤 豊子
お札所へ散歩コースの彼岸花 久米 千草

丸々の芋虫匍匐いずこへや 張本 雅宣
松原の名残の蟬に聞き入りて 末岐 美子

ひとりづつ一言添へて敬老会 金本ひろみ
爽やかやハイタッチする車椅子 佐々木八千代

背を丸め栗剥く母の絆創膏 稲原美砂子
台風来戸車直す腕黒し 坪井 美翠

川柳

阿南川柳会 田上鶴子 選

月の出を待っていますよ花すすき 西田 修身
白鳥座今夜ギリシヤへ旅気分 佐藤つたえ

褒められて私とつてもいい気分 多田紀久代
メルヘンの世界に遊ぶ自肅中 鈴木レイ子

子の躰気分次第にしないでね 原 公美子
検査結果気分爽快酔い痴れる 野口 吾朗

一般応募
散歩道萩こぼれ咲く秋の風 鳥尾美津子
釘付けのスマホ静かな部屋の中 武田 敏子
母さんの形見の着物お茶の会 仁井 信子
軸となる友の背中を見て学ぶ 吉田 當代

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

秋を饒る 折野 博子
月白紗窗夜幾更 月白し 紗窓夜幾更ぞ

惜秋草蜚喚愁鳴 秋を惜しむ草蜚 愁を喚んで鳴く
送夫數老想無已 夫を送り老を数えて 想 已む無し
寂寂牀頭睡未成 寂寂たる牀頭 睡り未だ成らず

秋日偶成 増喜 泰典
尋詩行覓一郊前 詩を尋ね 行く覓む一郊の前
萬頃得秋豐作年 万頃秋を得たり 豊作の年

紅萼並開繞畦徑 紅萼並び開き 畦徑を繞る
成吟夕照染詩箋 吟を成す夕照 詩箋を染む

三木武夫総理の銅像を拝して往時を憶う 市田 嘉則
若投政界克酸辛 若くして 政界に投じて 酸辛を克し
相印繼承匡大倫 相印繼承して 大倫を匡す

無信片時身不立 信無くんば片時たりとも 身は立たず
久銘座右守伊人 久しく座右に銘して 守りしはこの人
※大倫一人のふむべき大道



【ニホンクリ】
9～10月が旬の秋の味覚。日本の栗は甘めのものが多く、水分も豊富で、ゆっくり加熱することで良さが引き立ちます。本市では桑野町・福井町等で生産されており、艶のある鬼皮と大きくしっかりとした実が特徴です。